

# トラブルがおきたときは

## タイヤのパンク

タイヤパンク応急修理キット P.190

## ドアが開かない

インテリジェントキーでドアが開かない P.196

## 始動しない

インテリジェントキーで始動できない P.197

ジャンプスタートのしかた P.198

## バッテリー残量がなくなったとき

充電がなくなったときは P.201

## 充電ができない

充電作業中に困ったときは P.202

## 各種警告機能について

警告灯がついたときは P.206

ブザー（警報音）が鳴ったときは P.210

## くもりが取れない

窓ガラスのくもりの取りかた P.212

## 動かないとき

雪道やぬかるみからの脱出のしかた P.214

けん引について P.215

## 故障したとき

発炎筒の使いかた P.217

故障したときの対処方法 P.218

この車両は、スペアタイヤの代わりにタイヤパンク応急修理キットが搭載されています。  
タイヤパンク応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。

### タイヤパンク応急修理キットについて

タイヤトレッド部（接地面）の軽度なパンクは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理できます。

次の場合は応急修理ができないため、日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

- 修理剤の有効期限が切れているとき
- 約6mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
- タイヤサイド部が損傷を受けたとき
- ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
- タイヤがリムの外側、または内側へ完全に外れているとき
- リムが破損しているとき
- タイヤが2本以上パンクしているとき



※車種により、コンプレッサーの形状が異なります。

#### アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜かずにそのまま修理してください。

#### 知識

- 本キットは応急修理を目的としているため、修理後はすみやかに日産販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理を行ってください。

# タイヤパンク応急修理キット

タイヤのパンク

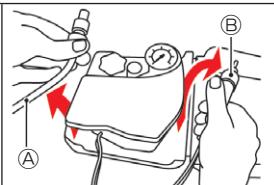
車種により、コンプレッサーの形状が異なります。

## タイヤパンク応急修理キットの使いかた

- 1 コンプレッサーの速度制限シールをはがし、運転者の良く見えるところに貼ります。



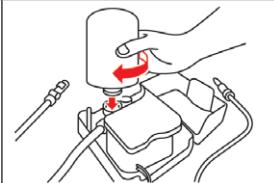
- 2 コンプレッサーからホースⒶと電源プラグⒷを取り出します。



- 3 コンプレッサーから、ボトルホルダーのキャップを外します。



- 4 修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたをつけたままボトルホルダーに取り付けます。  
(ボトルホルダーにねじ込むと内ぶたが破れます。)



### ▲ 注意

- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。  
また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

トラブルがおきたときは

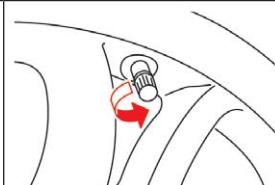
次のページへ続く

★ : 車両型式、オプションなどで異なる装備

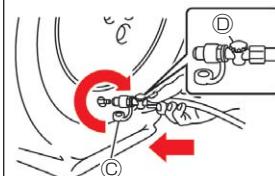
タイヤパンク応急修理キット 191

前のページから

- 5** パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。



- 6** ホース先端の保護キャップ①を外し、ホースをパンクしたタイヤのバルブに確実にねじ込みます。このとき、排気バルブ②が閉まっていることを確認してください。



- 7** コンプレッサーのスイッチが OFF (「○」の位置) にあることを確認し、電源プラグを車室内の電源ソケットに差し込みます。



次のページへ続く

### ▲ 注意

- ホースとタイヤの接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 破裂の危険があるためコンプレッサー作動中はタイヤから離れてください。亀裂や変形が発生している場合は、ただちにコンプレッサーのスイッチを切り、修理を中止してください。
- バルブを介して修理剤を注入するため、圧力が 600kPa に達することがあります BUT 异常ではありません。通常は、30 秒ほどで下がります。

### アドバイス

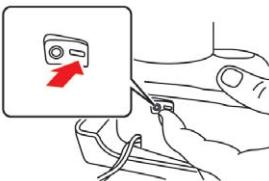
- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがあるので、10 分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。



前のページから

8

電源ポジションを ACC にしてコンプレッサーのスイッチを ON (「-」の位置) にし、タイヤを指定空気圧または 180kPa 以上まで昇圧させます。



9

指定空気圧または 180kPa 以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチを切り、電源プラグを電源ソケットから抜きます。ホースをバルブからしばらく取り外し、ホースに保護キャップを取り付け、バルブにキャップを取り付けます。



次のページへ続く



## 注意

- 10 分以内に 180kPa まで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理することはできません。日産販売会社または JAF などに連絡してください。



## アドバイス

- ボトル内に残った液剤がこぼれないように、ボトルはボトルホールダーにつけたままにしておいてください。



## 知識

- コンプレッサー作動中は、ときどきコンプレッサーを一時停止して、圧力計で空気圧を測定してください。空気圧が高すぎる場合は、排気バルブを反時計回りに回して、空気を抜いてください。

※タイヤの指定空気圧は、運転席ドア開口部に表示されています。



前のページから

- 10** 修理剤をタイヤ内に広げるため、10分間または3km程度走行してください。  
80km/h以下の速度で注意深く運転してください。

- 11** 走行後、再度コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）にあることを確認し、コンプレッサーのホースをタイヤのバルブに取り付け、コンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックしてください。

- 12** 指定空気圧より低下していたら、再度指定空気圧まで昇圧してください。  
空気圧が低下していなければ、応急修理は完了です。  
修理完了後は、すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

### ▲ 注意

- 空気を入れたあとは、ホースの口金が熱くなることがあります。やけどをしないように注意してください。
- 走行するときは、低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してください。
- 空気圧が130kPa以下に低下したり、手順の7～10を繰り返しても空気圧が低下したりする場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

 注意

## 修理キットについて

- 応急修理キットは、必ず日産純正品を使用してください。
- 応急修理キットは、搭載車両専用です。他の車には使用しないでください。
- 応急修理キットは自動車用タイヤの空気充てんや空気圧チェック以外で使用しないでください。
- 応急修理キットはDC12V専用です。他の電源での使用はできません。
- 水やほこりを避けて使用してください。
- 分解、改造などは絶対にしないでください。
- コンプレッサーに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意してください。

## 修理剤について

- 飲むと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- 万一日や皮膚に付着した場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。



## アドバイス

- 応急修理後の恒久修理のとき、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理業者で点検を受けてください。

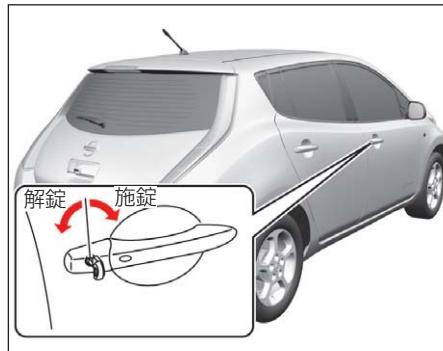
 知識

- 修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。
- 修理・再使用される場合は、専門の修理業者と相談してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、バルブは新しいものと交換してください。
- 修理剤とホースは再使用できません。使用後は新しい修理剤とホースをお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

### メカニカルキーによる施錠・解錠

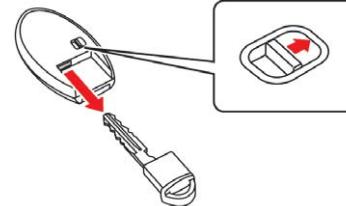
運転席ドアにある鍵穴にメカニカルキーを差し込んで回します。

車両前方にキーを回すと施錠します。  
車両後方にキーを回すと解錠します。



### 知識

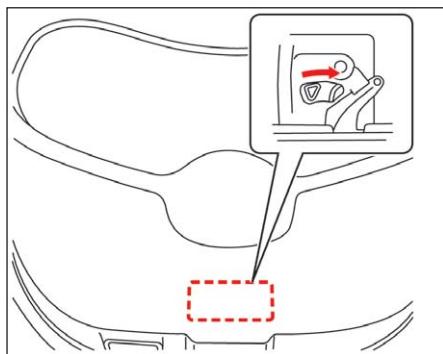
- メカニカルキーはインテリジェントキーに内蔵されています。



### バックドアの開けかた

12Vバッテリー上がりなどにより、電磁式バックドアオープナースイッチでバックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

- バックドアの車室内側にあるカバーの上側をお手持ちのマイナスドライバーなどにあて布をして外します。
- レバーを矢印の方向に動かして解錠し、バックドアを持ち上げます。

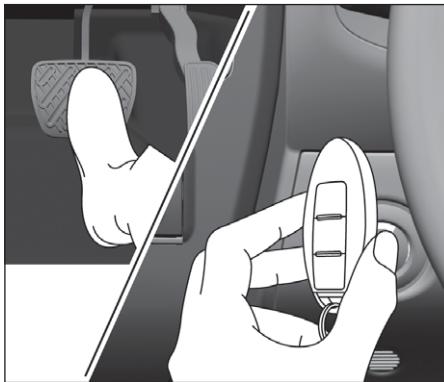


### アドバイス

- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境によりインテリジェントキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順で始動してください。

- ①ブレーキペダルを踏み、インテリジェントキーの裏面をパワースイッチに接触させます。  
(ブザーが“ピピッ”と鳴ります。)
- ②ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押すと、電源ポジションが切り替わります。



### アドバイス

- 左記の手順で始動できない場合は、早めに日産販売会社に連絡してください。

### 知識

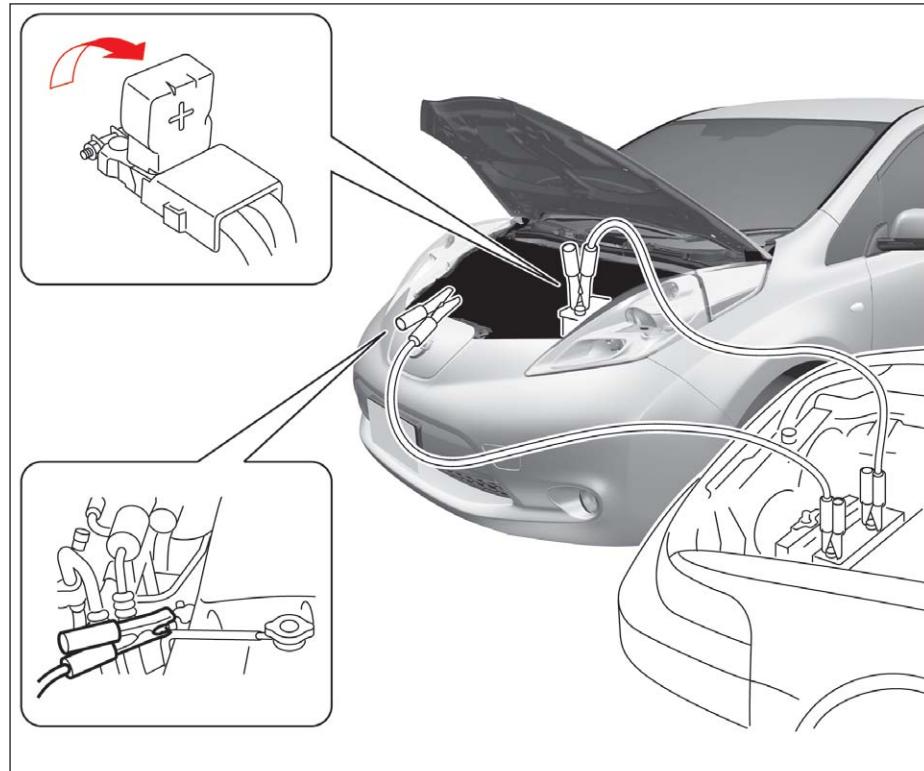
- 停止操作は通常と同じ手順です。
- ドアの施錠・解錠は、メカニカルキー( P.196)を使って行ってください。
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。

電池交換のしかた…P.140

## ジャンプスタートのしかた

始動しない

12V バッテリーがあがり、EV システムの始動ができなくなったときは救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで始動してください。



### ⚠ 警告

- ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ずお守りください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ
  - ブースターケーブルを自車バッテリーの $\ominus$ 端子に直接つながない
  - ブースターケーブルの $\oplus$ 端子と $\ominus$ 端子を接触させない

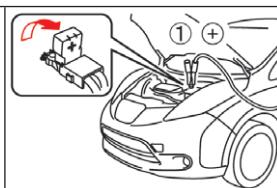
### 🚗 アドバイス

- 押しがけでの始動はできません。
- リーフを救援車として使用しないでください。
- 救援車には 12V バッテリー仕様の車両を使用してください。

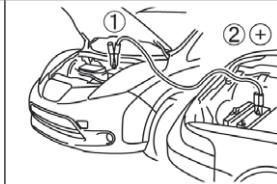
- 1** 自車と救援車の電源ポジションを OFF にします。  
☞パワースイッチ…P.80



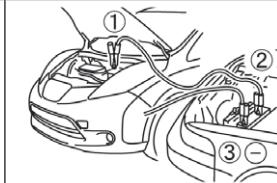
- 2** ブースターケーブル①を自車の 12V バッテリーの $\oplus$ 端子に接続します。



- 3** 手順 2 のケーブルの反対側②を救援車の 12V バッテリーの $\oplus$ 端子に接続します。



- 4** もう 1 本のブースターケーブル③を救援車の 12V バッテリーの $\ominus$ 端子に接続します。



### ▲ 注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。
- ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
- ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

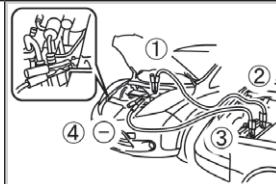
### アドバイス

- 充電ケーブルを接続したままジャンプスタートを行わないでください。車両または充電機器を破損するおそれがあります。

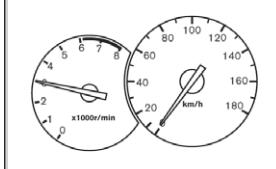
次のページへ続く

前のページから

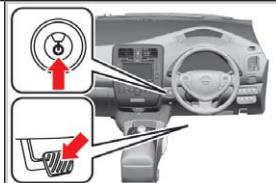
- 5 手順4のケーブルの反対側④を自車の車体(12Vバッテリーから離れたステーなど)に接続します。



- 6 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。



- 7 自車のブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押し、電源ポジションを走行可能状態に切り替えます。



- 8 走行可能状態に切り替えられたら、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。

## ⚠️ 警告

- バッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリーリード液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

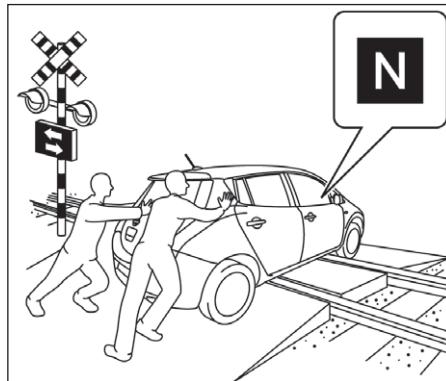
## 充電がなくなったときは

充電がなくなると走行できなくなります。

充電がなくなったときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産 EV カスタマーセンター（0120-230-834）にご連絡ください。

万一、安全な場所に移動する前に走行できなくなったときは、付近の人に応援を求め、車両を手で押して安全な場所に移動してください。

このとき、シフトポジションは **N** にします。



## バッテリー残量がなくなったとき

### アドバイス

- 救援を待つ間は、電源ポジションを OFF にしてください。電源ポジションを ACC または ON のままにしておくと、12V バッテリーがあがるおそれがあります。
- 充電が完全になくなると、電源ポジションが自動的に ON に切り替わり、走行可能状態にできなくなります。このとき、シフトポジションも **N** に切り替わるため、自力での走行ができなくなります。
- 充電がなくなったときは、メーターの航続可能距離表示が「---」ではなくなるまで（数値が点滅表示されるまで）充電されると、再び走行可能状態にできるようになります。

## 充電作業中に困ったときは

充電ができない

充電の作業中に困ったときは次のことをご確認ください。

これらを確認しても問題が解決できないときは、車両または充電機器の故障のおそれがあるため、日産販売会社にご連絡ください。

トラブルがおきたときは

症状	原因	対処方法
充電ができない	電源ポジションがONになっている	パワースイッチを押して、電源ポジションをOFFにしてください。
	普通充電コネクタと急速充電コネクタが同時に接続されている	どちらかの充電コネクタを取り外してください。
	すでに設定した充電量になっている	すでに設定した充電量になっているときは、充電が行われません。
	リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高い、または低い	メーターのリチウムイオンバッテリー温度計を確認してください。リチウムイオンバッテリー温度計の目盛りが赤色または青色の範囲に入っているときは、充電できない場合があります。
	12Vバッテリーがあがっている	電源ポジションをONにしてもメーターなどが点灯しない場合は、12Vバッテリーがあがっている可能性があります。12Vバッテリーを充電または交換してください。
普通充電ができない	コンセントまで電力がきていない	漏電遮断器が作動していたり、停電していないか確認してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>電源にタイマー機能がついている場合は、電源に設定されている時間帯まではコンセントに電力が供給されないものがあります。</li><li>立体駐車場の場合、駐車パレットが完全に格納されるまでの間やエレベーターの作動中は、電力が遮断されるものがあります。</li></ul>
	コンセント側のアースが正しく接続されていない	日産自動車の推奨する工事に準拠したアース設置工事が行われているか確認してください。 充電ケーブルは、コンセントに接続したときにアースの接続を自動的に確認しており、コンセント側のアースが正しく接続されていない場合、表示灯が点滅し充電が開始しません。
	プラグがコンセントに正しく接続されていない	プラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
	充電コネクタが正しく接続されていない	充電コネクタが正しく接続されているか確認してください。

症状	原因	対処方法
普通充電ができない	充電量が80%に設定してあり、すでに充電量が80%を超えてしまっている	80%以上充電するときは、ロングライフモード(☞P.25)を解除してください。
	日産自動車が推奨している配線ではない	電源設備が日産自動車の推奨している配線ではない場合、充電できない場合があります。
即充電ができない	タイマー充電が設定されている	即充電スイッチを押すか、タイマー充電を解除してから充電を開始してください。
タイマー充電ができない	充電ケーブルを接続し忘れている	あらかじめ充電ケーブルを接続してください。
	時計がずれている	時計の時刻が正しいか確認してください。 ナビゲーションシステム付車でも、12Vバッテリーの脱着をしたあとは、GPSとの通信が行われるまでの間、時刻が設定されません。
	タイマー充電の予約が設定されていない	タイマー充電が設定されていないときは、即充電が開始されます。タイマー充電の時刻および曜日を設定してください。
	充電開始時刻と充電停止時刻の両方が設定してあり、その時刻を過ぎている	タイマー充電の設定時刻と現在の時刻を確認し、状況に応じて時刻を設定し直すか即充電を行ってください。
	充電開始時刻のみが設定してあり、その時刻を過ぎている	
	充電停止時刻のみが設定してあり、その時刻を過ぎている	
リモート充電*ができるない	充電ケーブルが接続されていない	あらかじめ充電ケーブルを接続してください。
	通信ができない	携帯電話をお使いの場合は、通信圏外になっていないか確認してください。パソコンをお使いの場合は、インターネットの接続状態を確認してください。

## 充電作業中に困ったときは

充電ができない

トラブルがおきたときは

症状	原因	対処方法
リモート充電★ができるない	通信ができないない	車両が通信圏外にあるときは通信ができません。 2週間以上電源ポジションがOFFのままだと、リモート機能は自動的にOFFになります。一旦電源ポジションをONにしてください。
普通充電が途中で止まってしまう	コンセントまで電力がきていない 充電ケーブルが抜けている 充電コネクタのリリーススイッチが押されている 充電量が80%に設定してある 普通充電コネクタと急速充電コネクタが同時に接続された タイマー充電の停止時刻になった リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高い、または低い	充電中に漏電遮断器が作動したり、停電が起きたりしたおそれがあります。この場合、電力が復帰すると自動的に充電が再開されます。 充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 充電コネクタのリリーススイッチが押されていないことを確認してください。 80%以上充電するときは、ロングライフモード(⇒P.25)を解除してください。 急速充電の充電コネクタを取り外してください。 充電停止時刻が設定されている場合は、指定した充電量まで充電できていなくても充電が停止します。 メーターのリチウムイオンバッテリー温度計を確認してください。リチウムイオンバッテリー温度計の目盛りが赤色または青色の範囲に入っているときは、充電できない場合があります。
急速充電ができない	急速充電コネクタが正しく接続されていない	急速充電コネクタが正しく接続され、ロックがかかっていることを確認してください。

症状	原因	対処方法
急速充電ができない	急速充電器のセルフチェック機能でNGになった	車両故障の可能性があります。ただちに充電を停止し、日産販売会社にご連絡ください。
急速充電ができない	急速充電器の電源がOFFになっている	急速充電器の電源がONになっていることを確認してください。
急速充電が途中で止まってしまう	急速充電のタイマーにより終了した	急速充電器本体には、一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあります。一定時間を経過した場合は充電が停止します。さらに充電したいときは、もう一度充電開始操作を行ってください。 急速充電の時間は最大で60分に設定されており、30分～60分(リチウムイオンバッテリーの温度に応じて変化します)を経過した場合は自動的に充電が停止されます。さらに充電したいときは、もう一度充電開始操作を行ってください。
	充電量が80%に設定してある	80%以上充電するときは、 <u>ロングライフモード</u> (☞P.25)を解除してください。
	急速充電器の電源が何らかの理由でOFFになってしまった	急速充電器の電源がOFFになっていないか確認してください。
	普通充電コネクタと急速充電コネクタが同時に接続された	普通充電の充電コネクタを取り外してください。
	リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高い、または低い	メーターのリチウムイオンバッテリー温度計を確認してください。リチウムイオンバッテリー温度計の目盛りが赤色または青色の範囲に入っているときは、充電できない場合があります。

# 警告灯がついたときは

各種警告機能について

運転中に警告灯・表示灯が点灯または点滅したときは、次の対処方法に従ってください。

車両故障のおそれがない表示灯の説明は、②警告灯・表示灯…P.111をお読みください。

トラブルがおきたときは

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
12V 系充電警告灯 	<ul style="list-style-type: none"><li>電源ポジションを ON になると点灯し、走行可能状態にすると消灯します。</li><li>走行可能状態のとき、DC/DC コンバーターシステムに異常があると点灯します。</li></ul>	点灯し続けるときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。 また、走行可能状態のまま、12V バッテリーを外部電力で充電しないでください。車両が破損するおそれがあります。
ABS 警告灯 	<ul style="list-style-type: none"><li>電源ポジションを ON になると数秒間点灯後、消灯します。</li><li>電源ポジションが ON のとき、ABS のシステムに異常があると点灯します。</li></ul>	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 点灯したときは ABS が作動しなくなるため、高速走行や急ブレーキを避けて運転してください。
EPS（電動パワーステアリング）警告灯 	<ul style="list-style-type: none"><li>電源ポジションを ON になると点灯し、走行可能状態にすると消灯します。</li><li>走行可能状態のとき、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。</li></ul>	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。点灯しているときは、電動パワーステアリングは作動しないため、ハンドルの操作力が重くなります。注意して運転してください。
VDC 警告灯 	<ul style="list-style-type: none"><li>電源ポジションを ON になると数秒間点灯後、消灯します。</li><li>VDC 作動中に点滅します。</li><li>電源ポジションが ON のとき、VDC、ヒルスター・アシストのシステムに異常があると点灯します。</li></ul>	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。点灯したときは、VDC の作動は停止しますが、それらのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行してください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
EV システム警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。</li> <li>高電圧システムや冷却システム、電制シフトなどに異常があると点灯します。</li> </ul>	点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。
SRS エアバッグ 警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。</li> <li>電源ポジションが ON のとき、SRS エアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯または点滅を続けます。</li> </ul>	電源ポジションを ON にして約 7 秒たっても点灯、点滅し続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <u>点灯、点滅したまま放置すると、万一のとき SRS エアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。</u>
シートベルト警告灯 	電源ポジションが ON のとき、運転席シートベルトを着用していないと点灯します。	点灯したときは、シートベルトを着用してください。走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。
ブレーキシステム警告灯（黄色表示） 	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。</li> <li>走行可能状態のとき、回生協調ブレーキのシステムに異常があると点灯します。</li> </ul>	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <u>状況によりブレーキペダルの踏み込みに大きな力が必要になる場合があるため、高速走行や急ブレーキを避けて運転してください。</u>

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
ブレーキ警告灯 (赤色表示) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。また、パーキングブレーキをかけていると点灯し続けます。</li> <li>ブレーキ液が不足しているか、ブレーキシステムに異常があると、パーキングブレーキを解除しても点灯し続けます。</li> </ul>	走行中に点灯したときは、パーキングブレーキが解除されていることを確認してください。 <u>パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。</u> この場合ブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあるため、必要に応じ、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。
電制シフト警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。</li> <li>電源ポジションが ON のとき、電制シフトのシステムに異常があると点灯します。</li> </ul>	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。また、この警告灯が点灯したときは、パワースイッチを押しても電源ポジションが OFF にできないことがあります。その場合、パーキングブレーキを確実にかけた状態でパワースイッチを押すと、電源ポジションを OFF できます。
ヘッドランプ警告灯★ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>LED ヘッドランプ★に異常が発生すると点灯します。</li> </ul>	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
バッテリー残量警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> <li>リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると点灯します。</li> </ul>	点灯したときは、ただちに最寄りの充電施設で充電してください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
マスターウォーニング	  <ul style="list-style-type: none"> <li>電源ポジションが ON のとき、ロアメーター（メータ下部）の警告灯または一部の表示灯が点灯するか、車両情報ディスプレイに警告が表示されると、同時に点灯します。</li> </ul>	点灯している警告灯または一部の表示灯、車両情報ディスプレイの内容を確認し、それぞれの説明・対処方法をお読みください。
出力制限表示灯	 <ul style="list-style-type: none"> <li>電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。</li> <li>電源ポジションが ON のとき、以下の状態になると点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>リチウムイオンバッテリーの残量が極端に少ないとき</li> <li>リチウムイオンバッテリーの温度が低すぎるとき</li> <li>リチウムイオンバッテリーや走行用モーター、インバーター、冷却システムなどの温度が高すぎるとき</li> <li>EV システムが故障しているとき</li> </ul> </li> </ul>	<p>状況に応じて以下の手順に従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>充電がなくなる直前で、バッテリー残量警告灯  と同時に点灯しているときは、すみやかに安全な場所に停車し、EV カスタマーセンター（0120-230-834）に連絡してください。</li> <li>リチウムイオンバッテリー温度計の表示が極端に低いときは、充電をするか、車両を屋内などの暖かい場所へ移動させてください。</li> <li>リチウムイオンバッテリー温度計の表示が極端に高いときは、すみやかに安全な場所に停車して、温度が下がるまで自然冷却してください。</li> </ul> <p>上記以外で表示灯が点灯したときは、故障のおそれがあります。日産販売会社にご連絡ください。</p>

## ブザー（警報音）が鳴ったときは

各種警告機能について

車両盗難などを防ぐため、車内外でブザー（警報音）が鳴ることがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ…	ドアハンドルのリクエストスイッチを押したとき	電源ポジションは OFF になっているか インテリジェントキーを車室内に置き忘れていないか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していないか
		インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押したとき	いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前に施錠スイッチを押してはいないか
		ドアを閉めたとき	無意識にリクエストスイッチを押していないか
	ピッピッピッピッ	ドアを閉めたとき	電源ポジションが ACC または ON のまま、インテリジェントキーが車外に持ち出されていないか
		インテリジェントキーの充電コネクタロック解除スイッチを押したとき	充電ポートが開いたことをお知らせする音で、異常ではありません
		充電ポートトリッドオープナースイッチを押したとき	
	ピッピッピッ… (約 30 秒)	充電コネクタを接続したとき	充電コネクタが正しく接続されているか
	キー(金属音)	走行中にブレーキペダルを踏んだとき	ディスクブレーキのパッド(摩擦材)が摩耗していないか 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

トラブルがおきたときは

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車室内	ピピピピッ、 ピピピピッ…	運転席ドアを開けたとき	電源ポジションが ACC のままになっていないか
	ピピッピピッピッ ピッ	ドアを閉めたとき	電源ポジションが ACC または ON のまま、インテリジェントキーが車外に持ち出されていないか
		パワースイッチを押したとき	インテリジェントキーを携帯しているか インテリジェントキーを携帯してもブザーが鳴るときは、 インテリジェントキーの電池を交換してください
	ピピッピピッ…	運転席 ドアを開けたとき	電源ポジションが ON のままになっていないか シフトポジションを P にしているか

# 窓ガラスのくもりの取りかた

くもりが取れない

フロントの窓ガラスがくもるときは、デフロスター スイッチを押します。  
電源ポジションが ON のとき使えます。

## デフロスター スイッチ

- スイッチを押すとデフロスターから風が吹き出し、吸い込み口が外気導入になります。  
(表示灯が点灯)
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。  
(表示灯が消灯)



### ⚠ 注意

- デフロスター スイッチを ON しているときにエアコンの設定温度を低くすると、フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

### 車 アドバイス

- デフロスター スイッチを ON しているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。
- デフロスター スイッチは、連続して長時間 ON にしないでください。消費電力が多いため、航続可能距離が減少する原因になります。

### BOOK 知識

- デフロスター スイッチを ON になると、自動的に A/C スイッチ、HEAT スイッチの表示灯が点灯し、外気導入に切り替わります。

リヤの窓ガラスがくもるときは、リアデフォッガースイッチを押します。  
電源ポジションが ON のときに使えます。

### リアデフォッガースイッチ

- スイッチを押すと約 15 分間作動します。  
(表示灯が点灯)
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。  
(表示灯が消灯)



★：車両型式、オプションなどで異なる装備



- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいため 12V バッテリーあがりの原因になります。



- ヒーター付ドアミラー付車は、リアデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーヒーターも同時に作動します。

# 雪道やぬかるみからの脱出のしかた

動かないとき

砂地、雪道、ぬかるみなどから抜け出せなくなったときは、次の方法で脱出してください。

**1** VDC OFF スイッチを押して、VDC を OFF にします。

**2** 車両の前後に障害物が無いことを確認します。

**3** ハンドルを左右に回し、前輪の周囲をならします。  
必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。

**4** ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。  
周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。

## ⚠ 警告

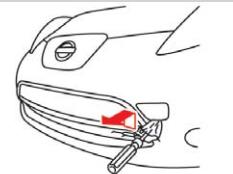
- 周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何もないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。
- 必要以上にアクセルペダルを踏み込まないでください。急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

## アドバイス

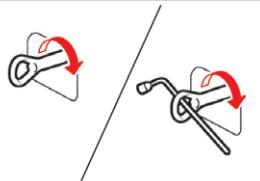
- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社または JAF などのロードサービスに連絡してください。

## 他車にけん引してもらうとき

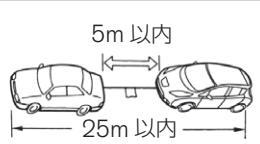
- 1** 先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、フロントバンパーのカバーの溝に差し込んでカバーを外します。



- 2** ホイールナットレンチを使って、けん引フックを取り付けます。  
→工具類の格納場所…P.220



- 3** 自車および他車のけん引フックにロープを掛け、ロープ中央に 30cm × 30cm 以上の白い布を取り付けます。



- 4** 電源ポジションを切り替えられるときは、ON または走行可能状態にして、シフトポジションを **N** に切り替えます。

パーキングブレーキを解除します。



## ▲ 注意

- 走行可能状態以外でけん引されているときは、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりりますので注意してください。

## アドバイス

- 4輪接地の状態でけん引するときは、電源ポジションを ON にしてシフトポジションを **N** にした状態で行ってください。この車両は、オートP機能(→P.83)が付いているため、電源ポジションが OFF のときは、4輪接地の状態でのけん引ができません。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。

## 知識

- けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。

- けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。やむを得ずけん引するときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。
- 車両が動かなかつたり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
- 前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。12Vバッテリー上がりなどで、シフトポジションがPから切り替えられないときは、前輪が接地した状態でけん引できません。
- 車両を運搬するときは、前輪または4輪を持ち上げてください。

#### ■後ろ側のフックについて

- 後ろ側のフックは船舶輸送時の固定専用です。けん引やトレーラー輸送時などの固定には絶対に使わないでください。この車で他車をけん引することはできません。

#### ▲ 注意

- 前輪を上げてけん引するときは、電源ポジションをONにしないでください。VDCが作動しブレーキがかかることがあります。

#### アドバイス

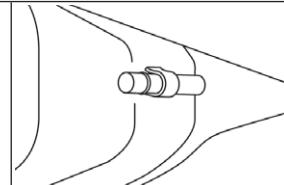
- けん引してもらうときは、速度30km/h以下でできる限り短距離の移動のみとしてください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

# 発炎筒の使いかた

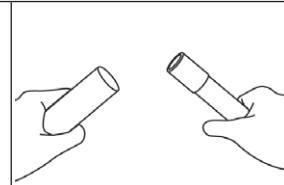
故障したとき

故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

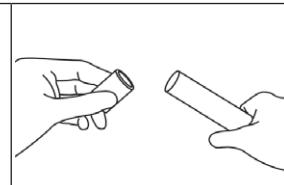
- 1 助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



- 2 本体を回しながらケースから引き抜きます。



- 3 ケースのすり薬で先端をこすって点火します。



## ⚠ 警告

- お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

## アドバイス

- 点火後は約5分間燃え続けます。
- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

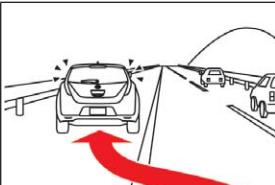
# 故障したときの対処方法

故障したとき

車両が故障したときは、次の手順を実施してください。

トラブルがおきたときは

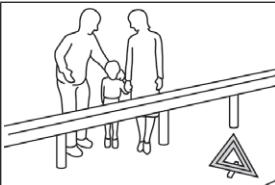
- 1 非常点滅表示灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。  
路肩が無い場所では、可能な限り広いところまで自走します。



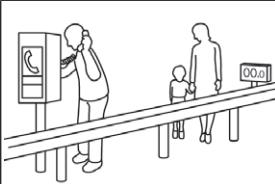
- 2 同乗者をガードレールの外側などに避難させ、発炎筒(☞P.217)や停止表示板(停止表示灯)を車両の後方に置きます。  
高速道路や自動車専用道路では、50m以上後方に置いてください。



- 3 運転者もガードレールの外側などに避難します。  
ガードレールの外側に避難ができない場所では、車両から離れてガードレールに身を寄せます。



- 4 非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。



## ⚠ 注意

- 故障によりEVシステムが止まると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなりますので注意してください。

## 🚗 アドバイス

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板(停止表示灯)の表示が法律で義務づけられています。
- ガードレールの外側などに退避するときは、停止車両への追突事故が発生したときに巻き込まれないように、車両の後方に避難してください。
- 非常電話は、高速道路上に1kmごとに設置されています。